

## 第2学年1組英語科学習指導案

日時 平成30年11月2日(金)  
5校時(14:00~14:50)  
場所 第2学習室  
指導者 教諭 天津貴志

### 1. 育成する能力

○学習指導要領 内容(4)イ

「身近な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする」

### 2. 単元名 邑南町をアピールしよう！

～ Unit 5 Universal Design (New Horizon English Course Book 2) ～

### 3. 単元目標

- ・ 身近な話題について自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。【外国語表現の能力】
- ・ 間違ふことを恐れず積極的に自分の考えなどを話している。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・ 聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・ 接続詞を使って書かれた文の形・意味・用法を理解する。【言語や文化についての知識・理解】

### 4. 基盤

○本単元は、昨今日常生活に浸透しつつあるユニバーサルデザインが紹介されている教材である。ユニバーサルデザインとはどのようなものか、本文を通して、製品化された事例、身近な施設での採用例などに生徒の目を向けさせながら気づき、理解を深めさせたい。

言語材料では、接続詞の if、when、because、I think [know] などに続く接続詞の that などが扱われる。これらを用いて、ある条件で何をするかを述べたり、自分の意見とその理由を述べたり、どんなときに何をするかを述べたりする場合の表現を習得させる言語活動を展開できる。

○ 〈個人情報保護のため省略〉

○本単元では、単元の終わりに「邑南町をアピールする」スピーチを行う。その活動を通して、自分の考えや意見などを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにすることをめざす。単元を通して、スモールステップで表現する力が高まるよう、単元計画を作成した。スピーチをALTに対するパフォーマンステストとして実施し、評価を行う。

実践的コミュニケーション能力の向上を図るため、ペア活動やグループ活動を交えながら授業を展開したい。より伝わりやすいスピーチになるよう、ペアやグループで相談してよりわかりやすい表現を使ったり、ま

りの構成を考えたりする時間を設ける。また、ペアやグループで実際に練習し合う時間を取ることで、声の大きさや視線などについても考えさせ、コミュニケーションとしてのスピーチになるように指導したい。

本時では、グループのメンバーで協力をして、邑南町の魅力を接続詞 **because** を使い、理由を含む文で参観者に紹介する活動を行う。この活動を、単元の最後に行う「邑南町をアピールする」スピーチへの第一歩としたい。

グループ活動を効果的に利用し、生徒が互いに教えあい、学びあう場面を作ることで生徒の学ぶ意欲を高めるとともに、学習内容の理解を深めたい。生徒同士が協力して考えたり、答えを導き出したりすることで学習面だけではなく、コミュニケーションや人間関係形成にもより効果のある学びをめざしたい。

#### 4. 単元の指導計画

##### (1) 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
①間違ふことを恐れず積極的に自分の考えなどを話している。(話すこと(発表)・言語活動への取組) ②聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。(話すこと(発表)・言語活動への取組)	①自分の考えや意見を、条件や理由などとともにまとまりのある文章でわかりやすく聞き手に話すことができる。(話すこと(発表)・適切な発話)	※本単元でこの観点の評価しない	①接続詞を用いた文の構造・意味・用法などについて理解している。(書くこと・言語についての知識)

(2) 単元の指導計画と評価計画 (全9時間)

時	○ねらい ・主な学習内容	評価				
		関	表	理	言	評価規準 (評価方法)
1 (本時)	<p>○本単元の最終ゴール (スピーチをする目的) を知る。 「Sarah 先生 (ALT) と先生の友だちに邑南町をアピールしよう」</p> <p>○接続詞 because の文構造を理解する。 「邑南町の良いところを来られた方 (友だち) に伝えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石見中の先生クイズ (なぜ先生になったか) に挑戦する。</li> <li>接続詞 because の意味と用法を理解する。</li> <li>邑南町の良いところを考える。</li> <li>考えた良いところを参観者 (友だち) に伝える。</li> </ul>				①	関① (活動の観察) 言① (後日、ペーパーテスト)
2	<p>○接続詞 when の文構造を理解する。 「京都になくて、邑南にあるものは何?」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接続詞 when の意味と用法を理解する。</li> <li>修学旅行で京都を訪れた時にどんなことをしたか/何が面白かったかを友達と伝え合う。</li> <li>京都と比較して、邑南の良さを考える。</li> </ul>				①	関① (活動の観察) 言① (後日、ペーパーテスト)
3	<p>○接続詞 if の文構造を理解する。 「邑南町に来たらどうする?・・・連想ゲームをする。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接続詞 if の意味と用法を理解する。</li> <li>「もし邑南町に来たら、何をするか」→「もしそれをするとうどうなるか」→「もし、そうなるとうどうするか」…という形で連想して、友達と伝え合う。</li> </ul>				①	関① (活動の観察) 言① (後日、ペーパーテスト)
4	<p>○接続詞 that の文構造を理解する。 「邑南町の美しいもの・おいしいものリストをつくろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接続詞 that の意味と用法を理解する。</li> <li>邑南町で美しいと思うもの、美味しいと思うものを英語で表現し、簡単に説明する。</li> <li>邑南町リストをつくる。</li> </ul>				①	関① (活動の観察) 言① (後日、ペーパーテスト)
5	<p>○邑南町を訪れるお客さんに喜んでもらえるような行動プランを考え、英語で伝える。 「邑南町ベストプランを考えよう!」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書本文 (P.68-69) を読んで、ユニバーサルデザインとはどのようなものかを理解する。</li> <li>本文の音読練習をする。</li> <li>邑南町に来ることになったお客さんに対して、晴れ/雨なら何をするか紹介する英文を考えて伝え合う。</li> </ul>				①	関① (活動の観察)
6	<p>○聞き手が理解しやすくなるように工夫して話す。 「伝えたい邑南町の良さをリストアップする。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書本文 (P.70-71) を読んで、ユニバーサルデザインの例を確認する。</li> <li>本文の音読練習をする。</li> <li>邑南町で自分が面白いと思うこと/困っていることについて接続詞 that を使って表現し、伝え合う。</li> <li>これまでしてきた活動から、邑南町の良さについて自分が伝えたいこと箇条書きにする。</li> </ul>				②	関② (活動の観察)

7	<p>○相手に分かりやすくするために、まとまりを意識して、邑南町の良さについて自分の意見を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書本文にあるユニバーサルデザインの例を確認する。</li> <li>本文の音読練習をする。</li> <li>本文を参考にして、邑南町をアピールする英文について相手に伝わりやすい構成を考える。(伝える内容と順番を考える。)</li> </ul>		①		表① (活動の観察・後日パフォーマンステスト)
8	<p>○邑南町の良さについて、相手に伝わるように話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書本文 (P.74-75) にあるユニバーサルデザインの例を確認する。</li> <li>邑南町にもユニバーサルデザインがないか考える。</li> <li>本文の音読練習をする。</li> <li>ペアで練習し、より伝わりやすい発表になるようにする。(視点①聞き手にとって分かりづらい表現はないか、②写真等があったほうが分かりやすいものはないか、③アイコンタクトや表情、聞き手に問いかけるなどコミュニケーションとしてのスピーチになっているか、④はっきり相手に伝わる音量があるか、など)</li> </ul>	②	①		関② (活動の観察) 表① (活動の観察・後日パフォーマンステスト)
9	<p>○邑南町の良さについて、相手に伝わるように話す。 (パフォーマンステストとビデオ録画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時に考えた改善点を意識したり取り入れたりして、より相手に伝わりやすく話す。</li> <li>一人ずつビデオ撮影する。</li> <li>終わった生徒から、邑南町の良さについての英文を清書する。</li> </ul>		①		表① (パフォーマンステスト)

関：コミュニケーションへの関心・意欲・態度  
表：外国語表現の能力  
理：外国語理解の能力  
言：言語や文化についての知識・理解

※帯活動については、①「たてよこドリル」(正進社)と②「80~90語の英文を読み、英問英答する活動を通しての語順を意識した英文読解と英作文の活動」を適宜行う。

### (3) 本時の学習

#### ①本時のねらい

○参観者の先生方へ間違うことを恐れず積極的に、邑南町の良いところを伝えようとしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (言語活動への取組)】

○because を用いた文の構造・意味・用法などについて理解する。【言語や文化についての知識・理解】

#### ②展開

時 (分)	生徒の学習活動・学習形態	教師の支援	評価
----------	--------------	-------	----

	1. 単元の目標と本時の目標と活動の流れを確認する。	単元「Sarah 先生 (ALT) に邑南町の良さを教えてあげよう！」	
		本時「邑南町の良いところを来られた方 (友だち) に紹介しよう！」	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の話聞き、単元の最終ゴールとその目的を知る。</li> <li>本時のゴールを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元や本時の学習への意欲が高まるように、また本時の学習に見通しがもてるよう目標と流れを提示する。</li> </ul>	
12	<b>2. 先生クイズを行い、because の用法について知る。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>石見中の先生数名について「教師になった理由」についての三択クイズを楽しむ。</li> <li>because の用法について説明を聞き、用法や意味について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT を活用して、節と節をつなぐイメージを持ちやすくする。</li> </ul>	
10	<b>3. 邑南町の良いところを考える。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師のモデルを見て、モデル文を知る。</li> <li>グループで邑南町の良いところを考え、メモする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が想像しやすくなるように、写真を見せながら教師のふるさについてモデルを見せる。</li> <li>使える表現のヒントを与える</li> </ul>	
5	<b>4. ペアで練習する。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>メモを参考にして、グループで英語で話してみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に対して、指導が必要な内容を伝える。</li> </ul>	
15	<b>5. 邑南町の良さを参観者 (友だち) に伝える。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人で参観者 (友だち) のところに行き、メモを見ながら、邑南町の良いところを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦手な生徒の側について、支援する。</li> <li>活動を区切り、必要な助言を行う。</li> </ul>	☆間違ふことを恐れず積極的に伝えようとしている (活動の観察)
5	<b>6. 振り返り (ワークシート記入)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に伝えることができたか</li> <li>言いたいけど言えなかった表現があったか</li> <li>気づいたこと</li> <li>もっと相手に伝わりやすくするためには、こうすれば良かったと思うところ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の活動に向けて、全体で共通して指導が必要な内容について触れる。</li> <li>今回見つけた課題を大事にするように伝える。</li> </ul>	

### ③ 評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	努力を要すると判断される生徒への支援
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	間違ふことを恐れず積極的に、多くの参観者へ邑南町の良いところを伝えようとしている。	時間がかかりながらも、メモをもとに自分の考えを伝えようとしている。	モデルの英文を参考にして、伝えることができるように支援する。

ねらいの2つめ、「because を用いた文の構造・意味・用法などについて理解する。【言語や文化についての知識・理解】」については、後日、ペーパーテストを実施して、評価する。